

クロルピクリン錠剤は、土壌消毒効果で信頼の高いクロルピクリン液剤を特殊な方法で固形化した錠剤タイプの土壌殺菌・殺線虫剤です。

外包装を開封した際は、必ず全量を使いきってください。

●成分および形状
有効成分：クロルピクリン・・・・・・70.0%
その他成分：ゲル化剤等・・・・・・30.0%
1錠重量：4g（直径2.5cm 厚さ0.5～0.6cm）
包装形態：1錠ごとに、ガス不透過性・水溶性のPVAフィルムで真空包装（内装）し、さらにこの内装された錠剤をガス不透過性フィルムを用いて減圧包装（外装）しています。なお、種類はバラタイプ100錠入りと400錠入りがあります。



外包装：ガス不透過性フィルム
外箱：ダンボール箱
100錠入り：4g×100錠×20袋
400錠入り：4g×400錠×8袋



内包装：水溶性PVAフィルム
有効成分：クロルピクリン70.0%
その他成分：ゲル化剤等30.0%
1錠の重量：4g

クロルピクリン錠剤適用病害虫（抜粋）

■バラ撒き処理

作物名	適用病害虫・雑草名	使用量	使用方法	本剤およびクロルピクリンを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	苗立枯病	1㎡当り 10～20錠	土壌くん蒸【床土・堆肥】30cmの高さに盛土する。 「1㎡当り10～20錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	3回以内 (床土1回以内、圃場2回以内)
	萎凋病 一年生雑草	1㎡当り10錠	土壌くん蒸【圃場】「1㎡当り10錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	
	青枯病	1㎡当り 10～15錠	土壌くん蒸【圃場】「1㎡当り10～15錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	
		1㎡当り 15～20錠	土壌くん蒸【圃場】「1㎡当り15～20錠処理」 地表面に所定量を散布処理後、 深耕ロータリーを用いて混和処理する。	
ピーマン	苗立枯病	1㎡当り 10～20錠	土壌くん蒸【床土・堆肥】30cmの高さに盛土する。 「1㎡当り10～20錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	2回以内 (床土1回以内)
	青枯病 一年生雑草	1㎡当り10錠	土壌くん蒸【圃場】「1㎡当り10錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	
なす	青枯病 半身萎凋病 一年生雑草		土壌くん蒸【床土・堆肥】30cmの高さに盛土する。 「1㎡当り10錠処理」 地表面に所定量を散布処理する。	
	苗立枯病			

■埋め込み処理

作物名	適用病害虫名	使用量	使用方法	本剤の使用回数	クロルピクリンを含む農業の総使用回数
トマト ミニトマト	萎凋病 青枯病 苗立枯病 センチュウ類	1穴当たり1錠	土壌くん蒸 【床土・堆肥】 床土・堆肥を30cmの高さに積み、 30×30cm毎に 1穴当たり1錠処理する。	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ピーマン とうがらし類	萎凋病 疫病 センチュウ類		【圃場】 「1穴当たり1錠処理」 30×30cm毎に1錠処理する。	1回	2回以内 (床土1回以内)
なす	青枯病 半身萎凋病 苗立枯病 センチュウ類				

■使用上の注意事項（抜粋）

- クロルピクリン錠剤に使用している包装は水溶性のため、濡れた手で作業しないでください。
- クロルピクリンは催涙性の刺激を有し、目、のど、鼻を刺激するので注意してください。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当を受けてください。
- クロルピクリンは、皮膚に対して強い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い流してください。
- 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないように十分注意してください。
- 拡散ガスによる危被害を防止するため、本剤処理後は必ずポリエチレン等で被覆してください。特に住宅周辺での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
- ハウス等で使用する場合には、出入り口、天窓、側窓等を開けて通気を良くして作業を行ってください。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- クロルピクリン錠剤処理前にアルカリ肥料、特に消石灰を施用すると作物に薬害を生じるおそれがあるので、これらの肥料は、ガス抜き後に施用するか、またはクロルピクリン錠剤処理の10日以上前に施用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●人家、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。 ●保管するときは、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

南海化学株式会社 東京支店：〒110-0015 東京都台東区東上野2丁目18番10号 上野ビル9階 TEL：03-5817-5851
土佐オフィス：〒781-8010 高知市棧橋通4丁目10番1号 TEL：088-831-6191

使って簡便！ 安全・安心！ 確かな効果！

施設栽培のトマト・ピーマン・ナス等の「青枯病」「半身萎凋病」「萎凋病」「苗立枯病」等の土壌消毒

クロルピクリン錠剤



土壌水分の管理が重要

クロルピクリン錠剤による全面バラ撒き混和处理

1 土壌をよく乾燥させます。



2 土壌表面は、白く乾いた状態にします。



3 土壌表面全体にバラ撒き散布します。



4 トラクターで混和します。



5 ポリエチレン等で全面被覆します。



6 被覆するとシート内部に水滴がつかます。



※混和すると土壌中の水分により表面に湿気を帯びるのでそのまま被覆してください。

連棟ハウスでは、1棟毎処理→バラ撒き散布→混和→被覆の手順で行なってください。
地下水位が高く、排水不良の圃場では不適用となります。

養液栽培のロックウール培地消毒事例(愛知県の事例)

完全乾燥



ロックウールの間に錠剤を約40cm間隔で置いていく。



シートで培地を包みホッチキスで留める。完全密封。



灌水チューブで、長さ1m当たり1ℓの水を灌水する。

クロルピクリン錠剤の効果と安全性のための適正土壌水分

含水比10%



含水比10%
処理10日後



- 土壌に湿り気は感じるが手で握って放すと細かく崩れる。
- 錠剤からクロルピクリンガスは放出しているがPVAフィルムは外形を保っている。

含水比17%



含水比17%
処理10日後



- 土壌は湿り気があって握ると軽く塊になる程度。
- 錠剤残渣はほぼ乾燥状態。

含水比21%



含水比21%
処理10日後



- 土壌は湿り気があり、握って放すと2～3個に割れる。

深耕ロータリーを用いたトマトの青枯病防除

●通常の混和处理と同様の作業手順で行なえます。(深耕ロータリーを用い深さ40～50cm程度まで耕運、混和)

安全使用のための注意

混和处理は、時速200mとかなり遅く、処理薬量も15～20錠/m²と多いため、作業は、風下から風上に向けて行なってください。作業中は、吸収缶付(活性炭入り)防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業着を着用してください。



試験



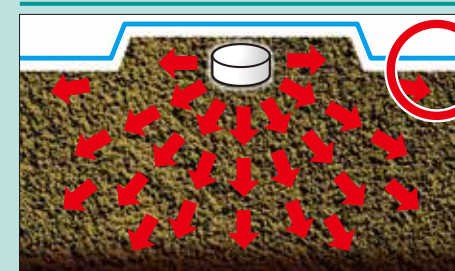
処理



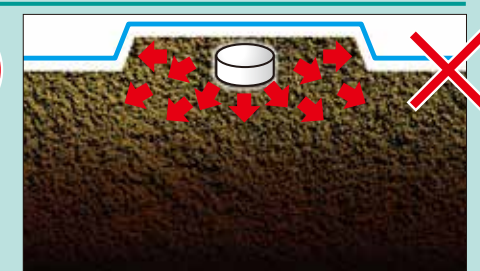
無処理

乾燥の目安

クロルピクリンガスの拡散を良くするために、土壌をよく耕起してください。乾燥の目安は地表面が白く乾いた状態で、地表面から5～10cmくらいの深さの土を軽く握ってはなすと、2～3個に割れる程度とします。



地表面から5～10cmくらいの深さの土を軽く握って放すと、2～3個に割れる。



多湿条件(水分過多)の土壌では、ガスが拡散しにくい。

注意 ※処理後、錠剤の残渣が目につきますが、無害です。

被覆期間

■標準的なくん蒸期間

平均地温	くん蒸期間
25～30℃	約10日
15～25℃	10～15日
10～15℃	15～20日
7～10℃	20～30日

※気象条件や土質等によっては、標準的なくん蒸期間よりも長くなることも考えられますので、注意してください。